

2021年4月8日

日本乳癌検診学会  
会員 各位

第30回日本乳癌検診学会学術集会 会長 大貫幸二

### 学術総会における演題登録者の情報流出について

昨年末に行われました第30回日本乳癌検診学会学術総会は、初めてのハイブリッド方式で運営させていただきましたが、おかげさまでプログラムは予定通り執り行うことができました。学術総会にご参加、ご協力いただきありがとうございました。

ところが、演題登録者に関する情報の一部が誰でも見ることができる状態であったことが2月21日（日）に発覚しました。具体的には、演題登録者の氏名、所属、演題名、メールアドレスの一覧表が、だれでもアクセスできる場所に意図せずに作成されており、そのファイルに気付いた何者かが、「あなたの学会の学術総会登録データが一般に公開されています」という内容のメールを、複数の演題登録者に送信したというものでした。

該当するのは一般演題、ポスター発表のスライドを登録していただいた128名の先生で、別途ご連絡を差し上げましたところ、27名の先生がそのメールを受信し、2名の先生から迷惑メールが増えたと感じたという報告をいただきました。

原因は、運営事務局である日本コンベンションサービス（JCS）が、従来型の現場で対応するシステムを転用して、公開環境で使用する際にシステムに不具合が生じ、その際にチェック機能が働かなかったといった経緯のようです。クレジットカード情報やパスワードなどは厳重なセキュリティ対策が行われており、幸い重大な被害が起こる可能性はないものの、JCSには厳重に注意をいたしました。

対応策として、JCSは翌日にはそのファイルを確認し削除した後に、すべてのシステムの不具合をチェックし、被害の状況を精査し、再発防止のための方策も整えているとの報告を受けています。また、警察にも相談しましたが、今のところ事件性はないとの判断のようでした。

以上、簡単ではありますが今回の情報流出の経緯をご報告させていただきます。学術総会の責任者として私からも会員の皆様にお詫びを申し上げますとともに、今後とも皆様がこれまで通りに積極的な学術活動をされることを祈念いたしております。

〈本件に関するお問い合わせ先〉

日本コンベンションサービス株式会社 緊急対策本部 情報システム部

TEL : 03-3508-1218

E-mail : kinkyu@convention.co.jp